

# 転倒転落に関する患者さん情報の 研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター医事室では、「転倒転落アセスメントシート改定・見守りカメラ導入後の効果検証」を行うことになりました。

この研究の目的は、入院された患者さんの病棟内での転倒転落事例を調べて、当院で運用しているアセスメントシートの評価、検証と見守りカメラ導入後の効果を明らかにすることです。

この研究のため、2019年8月1日より2023年6月30日までに入院した方の診療録、検査データ等の調査を行います。対象となるのは上記期間中に入院され、「転倒転落アセスメントスコア」で転倒転落に関する評価を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（入院歴や治療経過等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、共同担当者であるアイホン株式会社と日本IBM株式会社に個人を識別できない加工をしたデータのみ電子的配信にて送付され、解析が行われます。本研究における他の参加施設は、国立病院機構相模原病院、国立病院機構横浜医療センター、国立成育医療研究センターです。

今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年8月

研究責任者 加藤 むつみ

東京医療センター 事務部企画課医事室

連絡先 03-3411-0111(代表)